

1. 労働者の課題とその観点
 (1) いかに労働生産性を向上させるか
 厚生労働省によると有期5年3月時点、勤労統計調査
 では、建設業の月あたり労働時間は167.8時間であり
 平均出勤日数は20.5日であり他産業の中で最も実労働
 時間が長い。この理由は複雑な作業を求められる
 ことによる影響が大きい①
 以上、1. 効率化を図る観点からいかに労働生産性を
 向上させるかが課題である。

① 労働時間が長い主な理由は、労働力不足や工期設定に問題があるのでしょうか。

(2) いかに技術者を確保するか
 人口減少に伴う生産年齢人口の減少と高齢者の増加
 により、技術者が不足している。加えて、学生の理料
 離れの深刻化により若手技術者の確保も難しくなっ
 ている。人手不足により建設現場での役割分担が
 出来ず「昼は現場作業、夜は書類作成」という働き方
 が定着している。③
 以上、1. 人材面の観点からいかに技術者を確保する
 かが課題である。

② 高齢者の増加と技術者不足の結びつきがピンときません。

③ 「建設現場では」となっていますが、施工管理業務の一例だと思います。

(3) いかに誰もが働きたい環境を整備するか
 他の産業と比較しても、建設業では男性比率が高く
 男性主体の状態が続いている④
 現場の人材不足問題と不規則な勤務形態により若者入職者の
 減少が懸念される⑤
 以上、2. 就業促進の観点からいかに誰もが働きたい
 環境を整備するかが課題である。

④ 前後同じようなことを言っています。どちらか一方が良いのではないのでしょうか。

(2) 行政手続のデジタル化

建設業^⑨に係る行政上の各種手続申請は、従来形式が多
く、書類作成の労力や新可まの待ち時間を必要とする
子。そのため、行政手続^⑩のデジタル化を推進する。例
えば、WEBシステムにより24時間受付を行い、建設
業許可申請や特殊車両通行手続などを電子化するこ
とで、事業者の負担軽減と迅速な行政手続^⑪を図る。

- ⑨ 「建設業」→「建設業務」
- ⑩ タイトルと不一致。
- ⑪ 手続きを図るわけではなく迅速化を図るので、「行政手続きの迅速化」とした方が良い
と思います。

(3) 建設キャリアアップシステムの活用

技能者一人ひとりの就業実績と保有資格等を記録し
事業者が抱える技能労働者の水準を把握するこ
とで生産性の向上を図る^⑫。例えば、登録情報を基に施工
体制や帳簿作業負名簿を作成するこ
とで、手間やミス
を削減し書類作成の省力化を図る。また、受注者側
が適切な評価を行い^⑬、受注機械の増加に伴う
処遇改善の
原資確保等の好循環を図る^⑭。このことにより、こ
の生産性の向上を推進する^⑮。

- ⑫ 主語がないので、登録する人と把握する人が誰だか分かりません。また、労働者の水準とはどんな情報なのでしょうか。さらに、この情報を把握することで、なぜ生産性が向上するのかも分かりません。
- ⑬ 主語述語の関係がおかしいです。文が長いので、一旦切りましょう。よって、文末は、「・・・企業を適切に評価する。」となるのではないのでしょうか。
- ⑭ 「受注機械」→「受注機会」。分かりづらい表現です。例えば、「これにより、従事する技能者の適正な評価を促し、能力に見合った処遇改善を図る。」といった表現でどうでしょうか。
- ⑮ 建設キャリアアップシステムが、処遇改善につながることは理解できますが、生産性の向上に繋がるロジックは理解できません。

3. 波及効果の懸念事項、及びその対応策

波及効果：建設の口也ス^⑬が、各業務が効率化され、コスト削減の品物向上等、効果が期待される。

懸念事項：99様のデジタルの継続的な更新と管理が求められる、技術者のデジタル分野の知識が求められる^⑭こと、不正^⑮のリスクによる個人情報流出の懸念もあり、データの取り扱いの細心、注意を払う必要がある^⑯。

対応策：工本削減、セキュリティ対策を導入し、取り扱い情報の機密性・完全性・可用性を保護する。また技術者の定期的なデジタルリテラシー研修を通じて理解度を向上を図る^⑰。

⑬ 「に」追記。

⑭ 懸念事項なので、「知識不足が懸念される」としてはどうでしょうか。

⑮ 「不正」→「不正」。

⑯ この記述は懸念事項ではないと思います。

⑰ 内容は良いのですが、懸念事項の順番（①知識不足②セキュリティ）に合わせると読みやすいと思います。

4. 業務を遂行するにあたり、必要となる条件

常に社会全体における公益を確保する観点で、安心・安心な社会資本ストックを構築し、持続的に発展する観点で取り組む必要がある。業務の各段階で常にこれらを留意する必要がある。

以上